

# 認証取得で目に見えるメリットも

## 燕商工会議所 T S O 説明会・認証書授与式

燕商工会議所工業部会 (山後春信部会長) は八日 午後六時から、同商工会議

所三階大ホールで、昨年度に引き続き T S O 説明会を開催。昨年度、第一回の認定を受けた十二社に対して認証書授与式を行った。

T S O (ツバメ・スタンダード・オーガニゼーション) は、品質管理の世界共通のルールとして知られ、現在、多くの企業が取得に関心をもっている I

S O の燕版ともいえる独自の品質管理基準を設ける全国的にも珍しいユニークな試みとして昨年度から実施。全国的に注目を浴び、今年度からは燕市からも支援を受けるなど、さらなる発展が期待されて

### いる取り組み。

この説明会にも市内事業所を中心にして六十四社から、現場担当者など九十六人が駆けつけるなど関心の高さをうかがわせた。I S O 9 0 0 1 の取得は、一定の



認証を受けた感想やメリットを報告

品質を保証し、受注機会の拡大につながるために多くの事業所が取得に関心を

持っているもの、認証を得るためには財政的、人的に大きなコストがかかることから中小の事業所では二の足を踏むケースが少なくない。そこで、同商工会議所が独自の審査基準を策定、認証審査委員会を立ち上げ、認証しようというものが、ISOとの違いは、ISOの基準に含まれる人材教育やマネジメントに関する分野を省き、顧客が求める製造現場、品質保持、トレーサビリティなどの製品に関わる部分に特化させている点。販路拡大や顧客ニーズへの対応を目的とするほか、最終的には、ISOの簡略化ともいえるTSOを経由して本家のISO取得企業を増やすことが狙い。また、ISOと同様に文書化、記録の整理などの要求事項を備えていることから、事業継承や後継者育成、社内での情報共有などのメリットも期待できる。はじめに、遠藤光緑副部会長があいさつ。「ともすれば、我々のものづくりの世界では中国や韓国、新興国が追い上げてきている。その中で、安さだけで勝負するのは無理。やはり品質や高い付加価値、新規性で

越後ジャーナル

2012.5.10



### 2面より

勝負しなければ生きていけない。とくに『品質』については、民族として日本人は決して劣る部分ではないが、企業として見ると残念ながら島国、単一民族の弱点が見えてくると思う。各社が品質をずっと維持していけるかどうか。そのためには、会社の仕組みづくりが重要だ。その仕組みを作

れるか、作っていることをお客にアピールできるか。それがこれからの企業には重要になってくる」とTSOの意義を強調。TSOの普及で燕市の事業所が品質を重視することを国内外にPRしてほしい、と求めた。授与式終了後には、認証された企業の代表が、認証を受けた感想やメリットを報告。「日ごろの仕事

を文章化して示すことが難しかった」、「整理整頓ができて、さらに作業場に明確な表示が取り付けられたことで作業効率が上がった」、「日々の仕事をそれぞれが記録として残すことで、不良品を発見した場合に、原因が明らかで改善しやすい」、「とても安い費用で講師に教えてもらった。今はラッキーだと思う。今は